# 再結成

## 伝統を引き継ぐ

鹿追町立
笹川小学校
5年 中野 結
6年 渋谷 成実
2019. 11. 8 発行

笹川小学校では、独自の取り組みで御神楽という岩手県と宮城辺りで発祥したおどりと、和太鼓で豊年太鼓というものをたたいています。その中でも御神楽は約三十年間伝統として受けつがれてきました。御神楽、太鼓はどのように受けつがれてきたのか、ごらんください。

笹川小学校では、運動会や学習発表会で太鼓や御神楽を発表するため、日々練習しています。御神楽を初めてする一・二年生はむずかしいことばかりですが、生生や上級生に教えてもらって、どんどん上達しています。

三・四年生はどんどんレベルがあがり、細かい所にもみがきがかかってきます。そして、一・二年生に教えられるようになっていきます。

五・六年生になると扇子を使って練習を始めます。扇子はむずかしいですが、できるようになると、とてもかっこいいです。そして、扇子と同時に、一年生への指導も始まります。御神楽を伝統として受けつぐため、日々練習をしています。

そして、運動会になると、赤白関係なくおどります。

学習発表会には、五・六年生だけで御神楽をひろうします。練習は大変ですが、上手にできるととても達成感があります。ぼくは今年で卒業なので、来年からも上級生中心にがんばってほしいです。

次に和太鼓について紹介します。和太鼓は二年前から始まった習慣で豊年太鼓や、三宅島太鼓などを、一から六年生でたたきます。

一・二年生は、リズムを覚えながらたたきかたを練習していきます。最初はむずかしいですが、慣れるととても楽しいです。

三・四年生になると下打ちという、太鼓全体のリズムをたたく練習をします。下打ちは、リズムがくずれると、全体がくずれてしまうのでとてもむずかしいです。

五・六年生になると、学習発表会でひろうする、御神楽を太鼓でたたく練習をします。

これは、リズムがふく雑でとてもむずかしいです。

笹川小学校では、七月二十五日、学校キャンプをおこないました。

学校キャンプでは最初に、川へ行きました。川では、魚をとったり、川流れ体験をしたりしました。魚はあみでとったりして楽しみました。

次にテントを設営しました。ふだんテントをたてる機会がないので、とてもいい経験になりました。そして、立て終わった後は皆でおやつを食べました。がんばった後だったので、とてもおいしく感じました。

その後は晩ご飯づくりをしました。一年生は、フルーツポンチをつくり、シュマロを入れたりして、とても楽しかったです。

笹川小学校では、毎年、全校で縦割り4班に分かれて、農家さんの苦労や命の大切さについて学ぶために『畑の学習』を行っています。1班は「トウモロコシ」、2班は「ニンジン」、3班は「ジャガイモ」、4班は「タマネギ」を育てました。今年は、縦割り4班が育てた作物を使って「ありがとうカレー」を作る目的で始めました。

1班は、甘くて、大きく、おいしいジャガイモをつくると共に、班での交流を深めることを目標に育ててきました。

その後、じゃんちょうに育ち、収かくするとなんと十八キログラムで二百七個も採れました。

2班は、甘くて大きくて、食べたらみんながハッピーになるトウモロコシをつくることを目標に育ててきました。

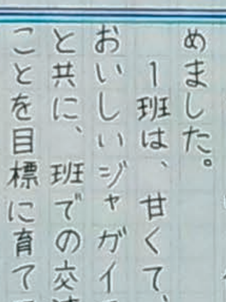
その後、どんどん大きく育ったのですがと中、動物が実を食べたり、トウモロコシのくきが折られたりして、三分の一がやられてしまい、すごく残念でした。ですが2班の目指していたトウモロコシができました。

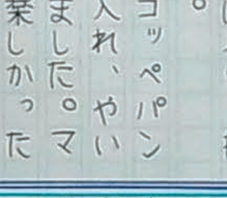
3班は、楽しく、真面目に仲良くやることを目標に人参を育てました。

その後、成長するのはおそかったのですが、大きいのと小さいのを収穫することができ、カレーにぴったりな甘くて美味しい人参ができました。

4班は、学年関係なく、おいしい玉ねぎをつくることを目標に育ててきました。

その後、じゃんちょうに育ちました。元気な玉ねぎもありましたが、かれてしまったものもありました。つくるのがむずかしいと言われていた玉ねぎをがんばって育てた4班は大変満足そうでした。





## 感謝の気持ちを耕そう

笹川小学校は、毎年、全校で縦割り4班に分かれて、農家さんの苦労や命の大切さについて学ぶために『畑の学習』を行っています。1班は「トウモロコシ」、2班は「ニンジン」、3班は「ジャガイモ」、4班は「タマネギ」を育てました。今年は、縦割り4班が育てた作物を使って「ありがとうカレー」を作る目的で始めました。

1班は、甘くて、大きく、おいしいジャガイモをつくると共に、班での交流を深めることを目標に育ててきました。

その後、じゃんちょうに育ち、収かくするとなんと十八キログラムで二百七個も採れました。

2班は、甘くて大きくて、食べたらみんながハッピーになるトウモロコシをつくることを目標に育ててきました。

その後、どんどん大きく育ったのですがと中、動物が実を食べたり、トウモロコシのくきが折られたりして、三分の一がやられてしまい、すごく残念でした。ですが2班の目指していたトウモロコシができました。

3班は、楽しく、真面目に仲良くやることを目標に人参を育てました。

その後、成長するのはおそかったのですが、大きいのと小さいのを収穫することができ、カレーにぴったりな甘くて美味しい人参ができました。

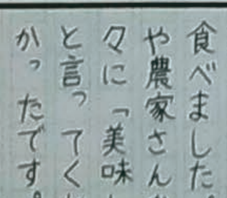
4班は、学年関係なく、おいしい玉ねぎをつくることを目標に育ててきました。

その後、じゃんちょうに育ちました。元気な玉ねぎもありましたが、かれてしまったものもありました。つくるのがむずかしいと言われていた玉ねぎをがんばって育てた4班は大変満足そうでした。

九月二十七日に、今まで育ててきた野菜や鹿追産の肉を使って作りました。一年生が今まで経験したことのないことや縦割り班関係なく、特に上級生は、スムーズに協力して行動することができました。

だんだん完成が近づくにつれ、みんなもワクワクしてきて楽しんで調理することができました。

そしてついに、完成まぢかのルーを入れることになり、みんなで、交代で混ぜながら完成させました。



そして、野菜を育てるとき、おせわになった農家さんと一緒に「ありがとうカレー」を食べました。児童から感謝のメッセージ、農家さんからもメッセージをいただきました。

今回の目標を全校みんなが達成できたと思いました。

## 英語でTry English トライ

笹川小学校では、JICA国際交流としてJICA研修員さんが来校しました。

今年は、モシルさん(バングラデシュ)、ホングさん(ベトナム)、フリッドさん(フィリピン)、バニさん(フィリピン)、アチュナさん(インド)、マハラナさん(インド)、エスマさん(アルバニア)の計七人の方と交流しました。

まず始めに、自己紹介ゲームをしました。JICA研修員さんと児童が一対一になって、自分の名前、好きな食べ物、きらいな食べ物などを言って、最後にハイタッチをするというゲームで研修員さんと全児童のさんちょうがほぐれたような気がしました。

その後、笹川の伝統の和だいこをひろうして、研修員さんも和だいこにチャレンジしました。仲も深まった中で研修員さんの国についてクイズけいしきで紹介してきただきました。知識が増え、良い時間になりました。

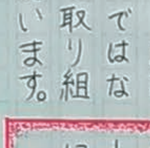
その後は、日本の遊びということで、こおりおにごっこをしました。一年生から六年生までたくさん楽しみました。

とうとうお別れの時間になり、笹川小学校こうれいの手でトンネルをつくりお見送りしました。英語が伝わらなくても身ぶり手ぶりで気持ちが伝わることがわかりました。

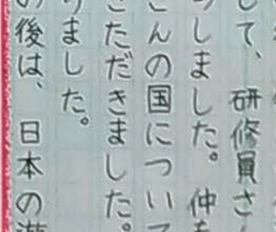
七月八日には、カナダ訪問団が来校しました。

カナダ訪問団のみなさんと笹川伝統の御神楽をひろうし、一緒に体験しました。中ではせんすをまわしているのを見て、「まほうみたいだね。」と言ってくれる方もいました。

JICA国際交流やカナダ訪問団を通し、英語の知識も増え、外国の方と話す機会がたくさんできたので、とても良い経験になりました。来年の交流も楽しみです。



(全児童へのアンケート)
英語は日々の生活で必要か。




アンケートの結果から
必要だという意見では英語を使っていて楽しく、コミュニケーションを取るとき大切だから、という声が多く反対に必要ないという意見では、見ぶり手ぶりでどうにかなるという意見がありました。

## 編集後記

ぼく達はこの新聞をかくにあたり、笹川小学校のことを、もっといろんな人に知ってほしいと思いこの新聞をつくりました。

そして、この新聞をつくってみて、自分でも改めて、笹川小学校の良さについて考え直すきっかけになりました。特に僕は、伝統はただやるのではなく、皆で協力し、なにより、楽しむ大切さをあらためて考えるきっかけになりました。地域の人達や保護者の方にも、全力で楽しむ所を見せたいです。

この新聞の題名「再結成」は、2年ぶりに2人で組んでその名前の、「結」と「成」からとり、再結成と名づけました。左の写真は2年前のぼく達の新聞です。今見てみると、昔からの、今の成長を、感じられました。